



福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：大野順道 ■幹事：金子親房
- 会報委員長：丹治洋子 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：中戸清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

第25回例会

平成26年1月15日(水) サンパレス福島

■会員/73名 ■出席/46名 ■出席率/63.01% ■メークアップ/27名 ■修正/73名 ■修正率/100.00%

本日のプログラム

- ※新入会員 村上晃史氏入場
- 1 開会点鐘
- 2 新入会員入会式
- 3 来訪者紹介と会長挨拶
- 4 次年度役員、発表・挨拶 (2名)
- 5 ロータリーの友読みどころ
- 6 スマイル報告
- 7 幹事報告
- 8 ゲストスピーチ
地区研修委員会委員
中田博道会員
- 9 閉会点鐘

会員の広場

ロータリーの友1月号より

第2530地区国際奉仕委員会委員長齋藤浩会員は、福島県大学生支援プロジェクト「オーストラリア短期派遣」に同行した。人間のなせる業には限界があるようだ。最終的には日本大使館の晩餐会に招待された。これらの経験を生かして、自分自身を高め、それが今後の福島の復興、再生の力となることを期待している。

今日の一面記事 1/15 福島民放

昨年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の世界を紹介する会津若松市の「ハンサムウーマン八重と会津博 大河ドラマ館」は14日、開催期間を終えて閉館した。施設前で閉館式を行い、室井市長らが「一年間ありがとなし」と書かれた垂れ幕を披露した。昨年1月の開館から昨日までの来館者は目標の60万人を上回る611,558人を記録した。

◆会長あいさつ◆ 大野 順道 会長



お客様をご紹介いたします。RI第2530地区研修委員会委員であられる中田博道様です。今月はロータリー理解月間ですので、本日のスピーチをお願い致しました。博道様は、その名前が示す通り、とても博識な方でございます。今日は遠路、お忙しい中時間を割いてお越し下さいました。心より感謝申し上げます。

皆さん、おめでとうございます。私の頭のおめでたさは、とりあえず置いておきます。とんちで有名な一休さんの「門松は冥土の旅の一里塚 めでたくもありめでたくもなし」という歌があります。年齢を「満」ではなくて「数え」で数えていた時代には、お正月が来ると何月に生まれようと、みんな一緒に年を取ります。人生を旅に例えたとき、正月に立てる門松は、一

里塚(旅人に距離を知らせるために一里ごとに築かれた塚)のようなものです。門松を立てるといことは、人生という旅が、また少し終わりに近づいたということでもあります。お正月と言って、おめでたいとかかれてばかりいないで、「一日一日を大切に」と、言うことでしょうか。今日、1月15日は、小正月。以前は元服の儀が行われたということで、成人の日でした。ハッピーマンデー制度導入に伴い、2000年から1月第2月曜日に該当する日に変更されました。福島市の成人式は、「成人の日」の前日、1月12日に国体記念体育館で行われ、2342名の新成人が集いました。代表の齋藤武蔵さんと大槻あかねさんが「復興への歩みを進めるために、心をついにします。」と、誓いました。皆さんと共に、新成人に「おめでとう」と、声を掛けたいと思います。

◆新入会員入会式◆ 村上 晃史氏



◆次年度役員◆



会場監督
廣澤 俊樹

新世代奉仕委員長
本田 光男

◆ロータリーの友読みどころ◆ クラブ広報・雑誌委員会

伊藤弘子 委員長

横組み

- P-7 ロータリー理解推進月間
- P-24 南相馬の子供たちを招き交流試合
- P-25 東北の子供たちに夢と希望を
- P-28 「オーストラリア短期派遣」に同行して

縦組み

- P-44 同志社大学応援団が復興支援演舞を披露

◆ゲストスピーチ◆

地区研修委員会委員

いわき平中央R.C 中田 博道 様



子供の頃から、他人に言わせればどうでもよい「不可解なり」の思いがある。ロータリーに関しても同様であり、最大の関心事は公式標語であるシェルドンが云う「最もよく奉仕する者、最も報いられる」である。これは「日本の武士道精神」にある報酬を根拠に行動するなというものと相反するから困る。

シェルドンは職業を「オキュペーション」と記し、ロータリーでは「ボケーション」といい、その使い分けが不可解だ。自分なりに考えると、「ボケーション」は神から与えられた職業であり責務であるという宗教的な意味合いがする。「オキュペーション」は明日の糧を稼ぐ為の仕事という感が強い。日本では一般的な職業に近い意味をいう。

そもそもロータリーは1905年にウェーバーが発表したプロテスタントの天職論に多大な影響を受けている。シェルドンもその影響下のもと、かの標語を思いつい

た。その後の研究を通じ、シェルドンは商売の成功の為、自分の経営学の理念を確立した。その理念がロータリーの基本理念になっている。

自分なりに考えると、経営の処し方はロータリーのモットーや4つのテストに照らし、一個人の生活全般は武士道精神や宗教的倫理などに則るものと解釈する。

「逆らわず、いつも笑顔で従わず」を金科玉条とする我が女房殿にこの話をしたら、「無粋だねー、野暮だねー」と冷たい返事をされた。また、「鯖を読む」の意味を教えられ、目から鱗であった。

ロータリーが哲学なら、個人の経験則からではなく自明の前提を疑い、真理を追究し論理的に考える姿勢が必須である。そのうえで「ロータリーとは何か、奉仕とは何か、幸福とは何か」を追究・検証する営みが始まる。

市場原理主義の限界が言われる今日、仏国のジャック・アタリが唱える善意で世界が運営される「世界平和主義・合理的利他主義」の理想モデル社会を開く知性の鍵かもしれない。

知性とは「理性と理想」を兼ね備えるものだから。市場原理の行きつく先は「超紛争」であると言われるが、ロータリーの奉仕理念あるいは「未来の夢計画」の実現がそれを回避し、かつ世界各国の民族的文化の尊重と維持を担保できるか不透明な問題である。

ドラえもんが「君たちはまだ科学という迷信を信じているかい?」と言った。英国の民族学者G・フレイザーが云う古代の「呪術的世界」、中世の「宗教的社会」、現代の「科学的社会」の次に到来するのはどんな社会なのだろうか。

ドラえもんの言葉は不可解である。

今月・来月のプログラム

- 1月22日(水) 振替休会
- 1月23日(水) 福島21RC合同例会
- 1月29日(水) クラブフォーラム
- 2月5日(水) 第4回ガバナー補佐訪問
「ロータリーの友」読みどころ・誕生者お祝い
- 2月12日(水) ゲストスピーチ
齊藤 浩地区国際奉仕委員長
- 2月19日(水) 委員会中間経過報告
- 2月26日(水) ゲストスピーチ
(財)ロータリー米山記念奨学会評議員
佐原 元氏インターシティミーティング報告

—編集後記—

しばらく真冬らしい厳しい寒さが続くようです。風邪やインフルエンザにかからぬよう体調管理に十分注意しましょう。

吉田(仁)